

アレルギー緊急時対応マニュアル

令和8年6月改定
(令和5年11月作成)

特定非営利活動法人にじのかなたに
しらとり保育園・にじいろ保育園

アレルギー緊急時対応マニュアル

対応の流れと役割分担

よくある訴え

「気持ち悪い」
「のどがへん」
「お腹が痛い」
「息が苦しい」
「かゆい」

初めに呼ばれた職員は
アクションカードを持ってくる

子どもに異変？

発見者（観察役）

- ☐ 症状の観察
- ☐ 緊急性の判断
- ☐ 人を集める(助けを呼ぶ)

- ・アレルギーの可能性をまず考える
- ・原因・責任追及よりまず行動！

子どもから目を離さない！

- ・症状が強ければ
その場で対応する決断を
- ・自力歩行できなければ
その場で対応

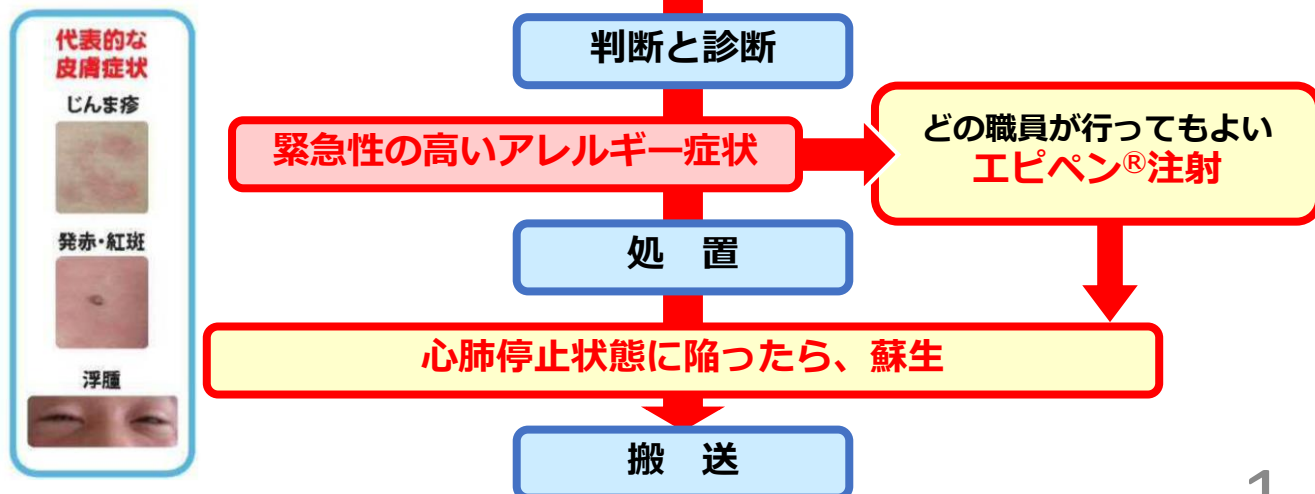
転倒注意

(体位の大きな変化は
ショックを引き起こすことがある。)

アクションカードを配布して、リーダー・連絡・準備・記録を依頼する



本人の緊急時薬や連絡先は、「緊急時個別対応マニュアル」参照



アクションカード設置場所

事務室・各保育室・遊戯室

愛知県瀬戸保健所管内保育所栄養士会

令和6年3月作成

発見者（観察役）

☐ 子どもから目を離さず症状の観察

- ・ 自力歩行できなければその場で対応
（体位の大きな変化はショックを引き起こすことがある）
- ・ 症状が強ければ、その場で対応する決断を
- ・ 子どもに声をかけ続ける

☐ 緊急性の判断

→緊急時個別対応マニュアルで確認

☐ 人を集める（助けを呼ぶ）

アクションカードを配布して
連絡・準備・記録を依頼する

☐ 処置の必要性を判断

☐ エピペン[®]の使用または介助

☐ 薬の内服確認

☐ 心肺蘇生・AEDの使用

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を絶え間なく行う
★次のひとつでもあればエピペン®を使用する

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い（がまんできない）おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳込み	・声がかすれる ・犬が吠えるような咳 ・ゼーゼーする呼吸 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている ・尿や便を漏らす	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている

（日本小児アレルギー学会）

★症状から対応を確認する

5分ごとに症状チェック ※ グレード3→2→1の順に

全身の 症状	☐ぐったり ☐意識がもうろう ☐尿や便を漏らす ☐脈が触れにくいまたは不規則 ☐唇や爪が青白い		
呼吸器の 症状	☐のどや胸が締め付けられる ☐声がかすれる ☐犬が吠えるような咳 ☐息がしにくい ☐持続する強い咳込み ☐ゼーゼーする呼吸	☐数回の軽い咳	
消化器の 症状	☐持続する強い（がまんできない） おなかの痛み ☐繰り返し吐き続ける	☐中等度のお腹の痛み ☐1～2回の嘔吐 ☐1～2回の下痢	☐軽いお腹の痛み（がまんできる） ☐吐き気
目・口 鼻・顔面 の症状	上記の症状が 1つでも あてはまる場合	☐顔全体の腫れ ☐まぶたの腫れ	☐目のかゆみ、充血 ☐口の中の違和感、唇の腫れ ☐くしゃみ、鼻水、鼻づまり
皮膚の 症状		☐強いかゆみ ☐全身に広がるじんま疹 ☐全身が真っ赤	☐軽度のかゆみ ☐数個のじんま疹 ☐部分的な赤み
		1つでもあてはまる場合	1つでもあてはまる場合
	①エピペン®使用 ②救急車要請 ③ショック体位 ④心肺停止？→蘇生開始	①事務室へ連れていく ②緊急時薬使用 ③エピペン®準備 観察中に の症状が1つ でも出現したらエピペン®使用 ④医療機関へ（救急車を呼ぶ）	①事務室へ連れていく ②緊急時薬使用 ③保護者に連絡
	グレード3	グレード2	グレード1

連絡役

- ☐ 救急車を要請
- ☐ 保護者に連絡・状況説明
- ☐ 園長・園長代理・課等への連絡
- ☐ さらに人を集める
- ☐ 救急車到着後の誘導
- ☐ 他の子の対応及びその指示
- ☐ 発見者（観察役）の補助

救急要請（119番通報）のポイント

◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



119番
火事ですか？
救急ですか？

救急です。



① 救急であることを伝える



住所はどこですか？

〇〇町〇番地
〇〇保育園です。



② 救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名をあらかじめ記載しておく



どうしましたか？

エピペン®を
〇時〇分に
打ちました。

5歳の男児が
給食を食べた後、
呼吸が苦しいと
言っています。



③ 「いつ、だれが、どうして、
現在どのような状態なのか」を
わかる範囲で伝える

※ エピペン®の処方やエピペン®の使用の
有無を伝える

※ 食物アレルギー既往の有無を伝える



あなたの名前と連絡先
を教えてください。

私の名前は
〇〇〇〇です。
電話番号は……



④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

※向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくることもある

- ・ 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・ その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

リーダー (園長・園長代理)

各々の役割の確認、指示、補助

他の役割の状況を確認し、
判断を求められたら判断する。

- ☐ アクションカードの役割
分担ができていなければ
役割分担を行う
- ☐ 保護者に状況説明
- ☐ 救急隊員への状況の説明
- ☐ 緊急搬送時の付添者の決定
- ☐ 課への連絡

【救急搬送時（医療機関受診時）に持って行くもの】

- ☐ 記録用紙
- ☐ エピペン（使用後）
- ☐ 緊急時個別対応マニュアル
- ☐ 献立表（給食喫食後の場合）

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を絶え間なく行う

★次のひとつでもあればエピペン®を使用する

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い（がまんできない）おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳込み	・声がかすれる ・ゼーゼーする呼吸 ・犬が吠えるような咳 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている ・尿や便を漏らす	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている

（日本小児アレルギー学会）

★症状から対応を確認する

5分ごとに症状チェック ※ グレード3→2→1の順に

全身の症状

- ☐ぐったり
- ☐意識がもうろう
- ☐尿や便を漏らす
- ☐脈が触れにくいまたは不規則
- ☐唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- ☐のどや胸が締め付けられる
- ☐声がかすれる
- ☐犬が吠えるような咳
- ☐息がしにくい
- ☐持続する強い咳込み
- ☐ゼーゼーする呼吸

☐数回の軽い咳

消化器の症状

- ☐持続する強い（がまんできない）おなかの痛み
- ☐繰り返し吐き続ける

- ☐中等度のお腹の痛み
- ☐1～2回の嘔吐
- ☐1～2回の下痢

- ☐軽いお腹の痛み（がまんできる）
- ☐吐き気

目・口・鼻・顔面の症状

上記の症状が
1つでも
あてはまる場合

- ☐顔全体の腫れ
- ☐まぶたの腫れ

- ☐目のかゆみ、充血
- ☐口の中の違和感、唇の腫れ
- ☐くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の症状

- ☐強いかゆみ
- ☐全身に広がるじんま疹
- ☐全身が真っ赤

- ☐軽度のかゆみ
- ☐数個のじんま疹
- ☐部分的な赤み

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ①エピペン®使用
- ②救急車要請
- ③ショック体位
- ④心肺停止？→蘇生開始

- ①事務室へ連れていく
- ②緊急時薬使用
- ③エピペン®準備
- 観察中に エピペン® の症状が1つでも出現したらエピペン®使用
- ④医療機関へ（救急車を呼ぶ）

- ①事務室へ連れていく
- ②緊急時薬使用
- ③保護者に連絡

グレード3

グレード2

グレード1

準備役

- ☐ 「緊急時個別対応マニュアル」
- ☐ エピペン[®]
- ☐ 緊急時薬・薬を飲む水
- ☐ A E D
- ☐ その他の必要物品
(コップ・洗面器・濡れタオル・嘔吐セット等)
- ☐ 記録用紙
※アクションカード 記録役 裏面にもあります。
- ☐ エピペン[®]の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生・AEDの使用

緊急時個別対応
マニュアルの保管場所

エピペン[®]の保管場所

緊急時薬の保管場所

AEDの保管場所

エピペン®の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開けエピペンを取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で持つ
“**グー**”で握る！

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側にエピペン®の先端（オレンジ色の部分）を軽くあて
“カチッ”と音がするまで強く押しあてそのまま5つ数える
注射した後すぐに抜かない！
押しつけたまま5つ数える！

⑤ 確認する



エピペン®を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する
伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、マッサージする

介助者がいる場合



介助者は子どもの太ももの付け根と膝をしっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中(A)よりやや外側に注射する

あおむけの場合



座位の場合



エピペン®を打った後は緊急搬送（救急車で搬送）
使用後のエピペンは救急隊員に渡す。

※記録用紙にペンをセット

記録役

※記録用紙は裏面にあります

- ☐ 以下の項目を記録
 - ☐ 経緯（発見者に聞き取り）
 - ☐ 観察を開始した時刻
 - ☐ 症状（5分ごとに記録）
 - ☐ 時系列での処置内容
 - ☐ エピペン[®]使用時刻
 - ☐ 内服薬を飲んだ時刻
 - ☐ AED使用時刻

記録用紙（１）

経緯（発見者に聞き取り）

誤食時間	月 日 時 分 誤食
食べた物	
食べた量	
最初に気づいた 症状・時刻	（例） 12:10 顔と上半身にじんましん
その他	

症状（５分ごとに記録）

観察開始時刻	時 分 から 観察開始		
時間	症状	対応（何をした）	だれが

記録用紙（２）

時間	症状	対応（何をした）	だれが

記録用紙（3）

時間	症状	対応（何をした）	だれが

緊急時個別対応マニュアル

作成日： 年 月 日 東郷町

年 組 氏名： アレルゲン食品：

●緊急時薬（保管場所）

◎特記事項

アレルギー既往園児については
各個人であらかじめ作成されているため
それをとってきてください。

★初発の場合はこのシートを参考に
症状チェックをしてください。

分類	薬剤名	使うべき症状	使い方
じんま疹、かゆみ、紅斑			内服
気管支拡張剤		咳、ゼイゼイ、息苦しさ	内服・吸入

エピペン® あり（保管場所）・保護者所持・処方なし

（続柄）

（続柄）

診療科（医師）名

診療科（医師）名

5分ごとに症状チェック ※グレード3→2→1の順に

全身の
症状

- ☐ぐったり
- ☐意識がもうろう
- ☐尿や便を漏らす
- ☐脈が触れにくいまたは不規則
- ☐唇や爪が青白い

呼吸器
の症状

- ☐のどや胸が締め付けられる
- ☐声がかすれる
- ☐犬が吠えるような咳
- ☐息がしにくい
- ☐持続する強い咳込み
- ☐ゼーゼーする呼吸

☐数回の軽い咳

消化器
の症状

- ☐持続する強い（がまんできない）おなかの痛み
- ☐繰り返す嘔吐
- ☐繰り返す下痢

- ☐中等度のお腹の痛み
- ☐1～2回の嘔吐
- ☐1～2回の下痢

- ☐軽いお腹の痛み（がまんできる）
- ☐吐き気

目・口
鼻・顔面
の症状

上記の症状が
1つでも
あてはまる場合

- ☐顔全体の腫れ
- ☐まぶたの腫れ

- ☐目のかゆみ、充血
- ☐口の中の違和感、唇の腫れ
- ☐くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の
症状

- ☐強いのかゆみ
- ☐全身に広がるじんま疹
- ☐全身が真っ赤

- ☐軽度のかゆみ
- ☐数個のじんま疹
- ☐部分的な赤み

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ①エピペン®使用
- ②救急車要請
- ③ショック体位
- ④心肺停止？→蘇生開始

- ①事務室へ連れていく
- ②緊急時薬使用
- ③エピペン®準備
- 観察中に の症状が1つでも出現したらエピペン®使用
- ④医療機関へ（救急車を呼ぶ）

- ①事務室へ連れていく
- ②緊急時薬使用
- ③保護者に連絡

グレード3

グレード2

グレード1

エピペン®の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開けエピペンを取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で持つ
“**グー**”で握る！

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側にエピペン®の先端（オレンジ色の部分）を軽くあて
“カチッ”と音がするまで強く押しあてそのまま5つ数える
注射した後すぐに抜かない！
押しつけたまま5つ数える！

⑤ 確認する



エピペン®を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する
伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、マッサージする

介助者がいる場合



介助者は子どもの太ももの付け根と膝をしっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中(A)よりやや外側に注射する

あおむけの場合



座位の場合



エピペン®を打った後は緊急搬送（救急車で搬送）
使用後のエピペンは救急隊員に渡す。

救急要請（119番通報）のポイント

◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



119番
火事ですか？
救急ですか？

救急です。



① 救急であることを伝える



住所はどこですか？

〇〇町〇番地
〇〇保育園です。



② 救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名をあらかじめ記載しておく



どうしましたか？

エピペン®を
〇時〇分に
打ちました。

5歳の男児が
給食を食べた後、
呼吸が苦しいと
言っています。



③ 「いつ、だれが、どうして、 現在どのような状態なのか」を わかる範囲で伝える

※ エピペン®の処方やエピペン®の使用の
有無を伝える

※ 食物アレルギー既往の有無を伝える



あなたの名前と連絡先
を教えてください。

私の名前は
〇〇〇〇です。
電話番号は……



④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

※向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくることもある

- ・ 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・ その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

心肺蘇生とAEDの手順

- ◆強く、早く、絶え間ない胸骨圧迫を！
- ◆救急車に引き継ぐまで、または子どもに普段通りの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける

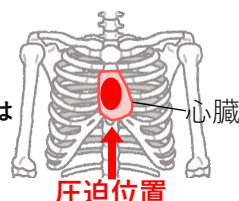
① 反応の確認

肩を叩いて大声で呼びかける
乳幼児では足の裏を叩いて呼びかける

【胸骨圧迫のポイント】



乳児（1歳未満）は
2本指で
圧迫



圧迫位置

② 通報

119番通報とAEDの手配を頼む

反応がない

- ◎強く（胸の厚さの約1/3）
- ◎速く（100～120回/分）
- ◎絶え間なく（中断を最小限にする）
- ◎圧迫する位置は「胸の真ん中」

③ 呼吸の確認

10秒以内に胸とおなかの動きをみる

【人工呼吸のポイント】



- 息を吹き込む際
- ◎約1秒かけて
- ◎胸の上りが見える程度

普段通りの呼吸をしていない

普段通りの呼吸をしている
ようなら、観察を続けながら
救急隊の到着を待つ

【AED装着のポイント】

- ◎電極パッドを貼り付ける時も、できるだけ胸骨圧迫を継続する
- ◎電極パッドを貼る位置が汗などで濡れていたらタオル等でふき取る
- ◎6歳くらいまでは小児用電極パッドを貼る。なければ成人用電極パッドで代用する

④ 必ず胸骨圧迫！可能なら人工呼吸！

30：2

ただちに胸骨圧迫を開始する
人工呼吸の準備ができ次第、
可能なら人工呼吸を行う

【心電図解析のポイント】

- ◎心電図解析中は、子どもに触れないように周囲に声をかける

離れて
ください



【ショックのポイント】

- ◎誰も子どもに触れていないことを確認したら点滅しているショックボタンを押す

⑤ AEDのメッセージに従う

電源ボタンを押す
パッドを張り、AEDの自動解析に従う